

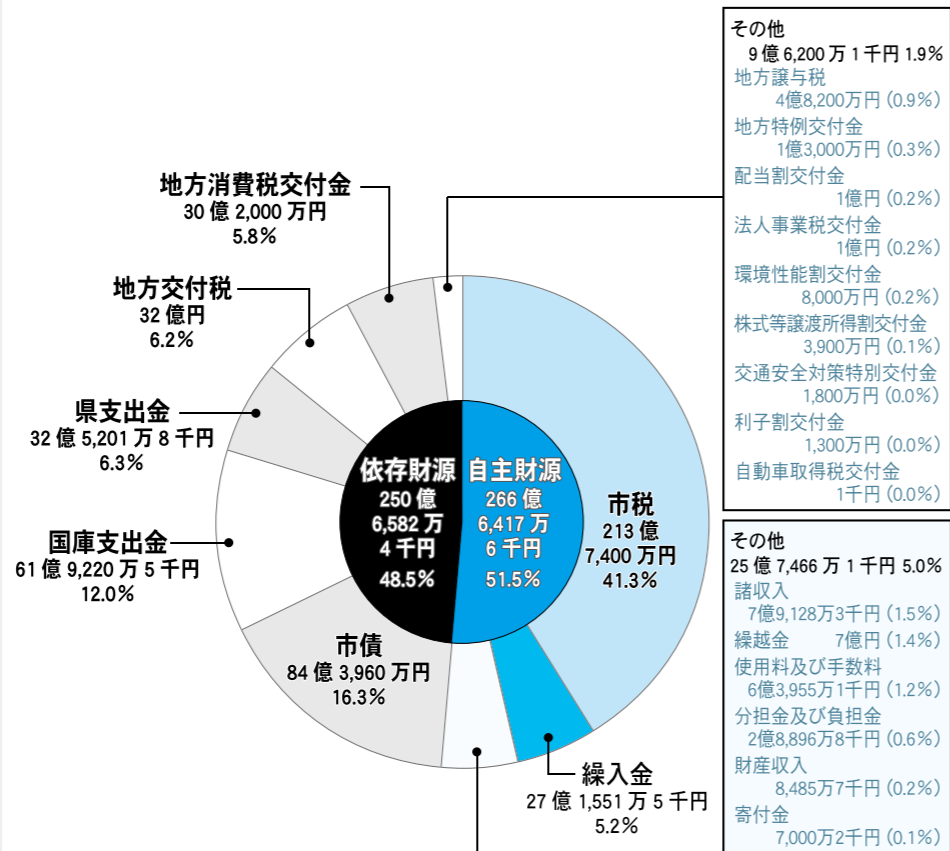
一般会計 517 億 3,000 万円の性質別構成比

歳入

歳入科目の解説

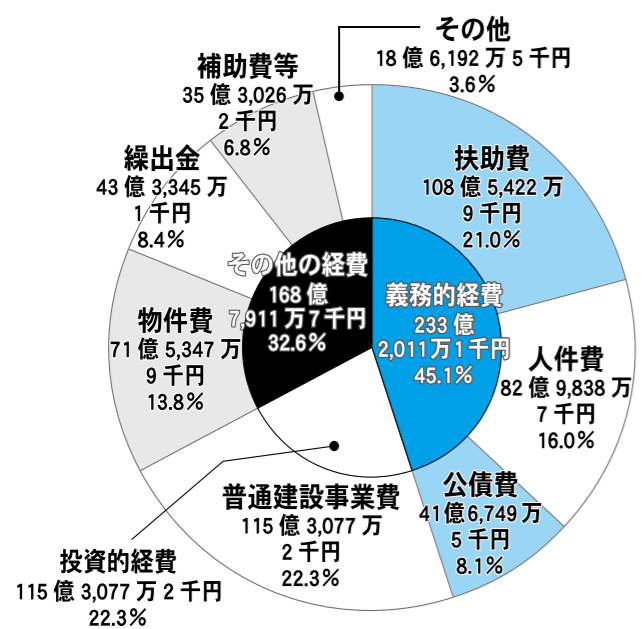
- 市税
市民税（個人・法人）、固定資産税など
- 繰入金
特別会計や基金などから繰り入れるもの
- 諸収入
市税の延滞金、預金利子、貸付金の元利収入など
- 使用料及び手数料
市の施設や行政サービスを利用する人に、それに要する経費を負担してもらうもの
- 分担金及び負担金
市が行う事業で特に利益を受ける人から、その受益の限度において賦課徴収するもの
- 市債
不足する財源を賄うために借り入れるもの
- 国庫支出金
市が行う事務事業のために国が支出するもの
- 県支出金
市が行う事務事業のために県が支出するもの
- 地方交付税
地方公共団体間の地域格差をなくし、一定の行政水準を確保できるようにするために国から交付されるもの
- 地方消費税交付金
地方消費税の一部が県から交付されるもの

歳入の内訳（下図）を見ると、市税（213億7,400万円）が最も多く、全体の41.3%を占めています。
2番目に多いのが、市債（84億3,960万円）の16.3%で、国庫支出金（61億9,220万5千円）が12.0%、県支出金（32億5,201万8千円）が6.3%と続きます。
財源別に見ると、自主財源が266億6,417万6千円で51.5%、依存財源は250億6,582万4千円で48.5%となっています。



歳出

歳出の内訳（左図）を見ると、最も多いのが普通建設事業費（115億3,077万2千円）で、全体の22.3%を占めています。
続いて扶助費（108億5,422万9千円）が21.0%、3番目は人件費（82億9,838万7千円）で16.0%となっています。



歳出科目の解説

- 扶助費
保育園費、高齢者医療費、子ども医療費、生活保護費など
- 人件費
議員・行政委員の報酬、市長・職員の給与など
- 公債費
市債（長期借入金）の元金・利子などの返済金
- 普通建設事業費
道路、橋、公園、建物などの建設費用
- 物件費
光熱水費、郵便料、電話料、消耗品費、備品購入費など
- 繰出金
特別会計への繰入金
- 補助費等
市民病院への支出金など

令和2年度当初予算

問合せ先 市役所財政課 ☎0587(32)1171
ID 1006395

令和2年度当初予算（総額 954 億 3,065 万 5 千円）についてお知らせします。

昨年は、元号が「平成」から「令和」へと変わり、新時代の幕開けの年となりました。本年は、私が市民の皆さまから市政をお任せいただいた4年間の総仕上げにあたる年でございます。公約である「人にやさしく活力あるまちづくり」の実現を目指し、限られた財源の中、さまざまな取り組みを進めてまいります。

人にやさしくの視点に立った取り組みとして、若い世代が安心して子育てできる環境を整備するべく、稲沢東第2児童クラブの開所など、子ども・子育てに関する施設のさらなる充実に努めてまいります。また、子ども医療費の助成として、18歳になる年の年度末までの入院に係る医療費の無料化を実施するとともに、放課後児童クラブ利用料の減免措置を拡大するなど、子育て世帯の経済的負担軽減を進めるほか、保育士が働きやすい環境づくりをサポートすることで保育体制の強化を図ります。

そのほか、子育て・教育の環境整備として中学校音楽室へのエアコン設置と、全ての市立保育園、小学校および中学校への防犯カメラの設置を進めてまいります。

そして、**活力あるまちづくり**の視点では、名鉄国府宮駅周辺の再整備などの「攻め」と地域コミュニティの確保などの「守り」の両輪で取り組む定住施策を今年度スタートする「第3次稲沢市都市計画マスタープラン」に位置づけ、推進してまいります。

また、新庁舎には激甚化する災害に対応するための災害対策拠点と、福祉に関する相談のワンストップ対応を実現するための福祉の拠点を整備いたします。

市民の皆さまに幸福を実感していただけるよう、これまで積み重ねてまいりました取り組みをさらに推進するとともに、長期的な視点に立った取り組みの実現に向け、一步一步着実に進めてまいりたいと考えております。



稲沢市長 加藤錠司郎

会計別当初予算の前年度比較

会計名	令和2年度予算額	令和元年度予算額	前年度比率(%)	
一般会計	517 億 3,000 万円	460 億 1,000 万円	112.4	
特別会計	257 億 7,990 万円	258 億 3,110 万円	99.8	
内訳	国民健康保険	122 億 6,800 万円	129 億 6,300 万円	94.6
	介護保険	93 億 7,300 万円	91 億 300 万円	103.0
	後期高齢者医療	35 億 9,100 万円	33 億 1,800 万円	108.2
	祖父江霊園事業	—	1,080 万円	皆減
	稲沢西土地区画整理事業	5 億 4,790 万円	4 億 3,630 万円	125.6
企業会計	179 億 2,075 万 5 千円	185 億 2,330 万 5 千円	96.7	
内訳	病院事業	82 億 4,439 万円	85 億 350 万 2 千円	97.0
	水道事業	45 億 9,898 万 7 千円	52 億 2,649 万 2 千円	88.0
	公共下水道事業	46 億 3,239 万 5 千円	43 億 5,307 万 8 千円	106.4
	集落排水事業	4 億 4,498 万 3 千円	4 億 4,023 万 3 千円	101.1
合計	954 億 3,065 万 5 千円	903 億 6,440 万 5 千円	105.6	

※祖父江霊園事業特別会計については、令和2年度から一般会計に移管

主な用語の解説

- 一般会計…市行政の基本的な経費（福祉、衛生、教育、土木など）に要する経費について、市税などを主な財源として経理する会計
- 特別会計…市が特定の事業を行う場合に、一般会計の歳入歳出と区分してその経理を明確にするため法律や条例によって設置する会計
- 企業会計…市が独立採算制を原則とする企業的色彩の強い事業を行う際に、法律や条例によって設置する会計。企業会計は、公共の福祉を目的とするとともに、企業の経済性を発揮することも求められていて、経理の方式なども一般会計や特別会計とは異なる